

平成 24 年度 青森市急病センター運営審議会 会議概要

日 時：平成 24 年 10 月 10 日（水） 午後 7 時～午後 8 時

場 所：青森市役所 本庁舎 3 階 福利厚生室

出席委員：工藤委員（議長）、織井委員、齋藤委員、畑山委員、横田委員、
近藤委員、近井委員、木原委員 《計 8 名》

欠席委員：八木澤委員、成田委員

事務局：管理者 青森市医師会長 成田祥耕、健康福祉部長 福井正樹、
健康福祉部次長 今村貴宏、健康福祉政策課長 荒内隆浩、
健康福祉政策課主幹 堤省一、健康福祉政策課主事 杉見夏樹、
健康福祉政策課主事 櫻田亮太 《計 7 名》

会議次第

1 開会

2 青森市長あいさつ

3 青森市医師会会長あいさつ

4 案件

（1）報告事項

① 青森市急病センター運営審議会の会議の公開について

② 平成 23 年度青森市急病センター事業実績等について

- ・青森市における救急医療体制の状況

- ・平成 23 年度青森市急病センターの利用状況について

- ・平成 23 年度青森市急病センター運営等に係る歳入・歳出決算

- ・平成 24 年度青森市急病センター運営等に係る歳入・歳出予算

③ 庁舎建替えに伴う青森市急病センターの立地場所等について

（2）その他

平成 23 年度運営審議会における意見について

- ・常勤医の配置について

- ・外科診療体制の見直しについて

- ・急病センターにおける診療報酬について

- ・救急医療打ち合わせ会（仮称）について

5 閉会

会議要旨

(1) 報告事項

① 青森市急病センター運営審議会の会議の公開について

事務局より、資料1について説明。

意見・質疑応答

なし

② 平成23年度青森市急病センター事業実績等について

事務局より、資料2について説明。

意見・質疑応答

- ・平成23年度の青森市急病センターの利用者数は、青森市と同規模人口で、他都市急病センターの患者数と比べた場合の比較を教えてください。また青森市全体の救急患者のうち、青森市急病センターの割合について教えてください。

(事務局) 他都市急病センターの患者数は、自治体によって異なる。青森市全体の救急患者のうち、青森市急病センターの割合については、調査した上でお知らせする。

③ 庁舎建替えに伴う青森市急病センターの立地場所等について

事務局より、資料3について説明。

意見・質疑応答

- ・現状の診察室・静養室は適切な広さではなく、また、今後の急病センターの診療機能についても、急病センターの派遣医の中でいろいろな意見があるので考慮してほしい。
- ・今の施設では患者のプライバシーが守られていない。建替え時には患者のプライバシーに配慮した構造にしてほしい。
- ・薬剤業務の部屋について、現状は狭いので、新しいレイアウトをつくる際には、薬剤師会の意見も取り入れていただきたい。

(事務局) 皆さんの意見を伺いながら、これから検討していきたい。

(2) その他 平成 23 年度運営審議会における意見について

○ 常勤医の配置について

事務局より、資料 4 について説明。

意見・質疑応答

- ・内科系医師が診察すれば、小児科医の負担も下がると思う。
- ・比較的成長した子供は内科医でもある程度の診察はできるが、急病センターでは新生児や乳幼児の利用も多くなっており、内科医による診察が難しい。
- ・青森市外や公立病院に勤務する小児科医にも参加を打診してはどうか。
- ・公立病院にも打診したが、結果は急病センターに派遣できないということであった。この体制がいつまで続けられるか課題だが、しばらくは現体制で続けたいと考えている。

○ 外科診療体制の見直しについて

事務局より、資料 5 について説明。

意見・質疑応答

なし

○ 急病センターにおける診療報酬について

事務局より、資料 6 について説明。

意見・質疑応答

- ・現場でのモチベーションを上げることに繋がるので検討してほしい。
- ・請求すべきものはきちんと請求すべきである。
- ・市民感覚として赤字を税金から補填しているほうに負担を感じる。計上したほうが青森市にとって歳入がプラスになる。
- ・6歳未満の子供への診療加算を計上することは、子供に対する医療をきちんと提供しているという裏返しであり、計上すべきである

(事務局) 導入はするが、市民負担を軽減する福祉政策を進めている中で、時期を検討中ということである。委員の意見はよく分かるが、時期を検討させていただきたい。

○ 救急医療打合せ会（仮称）について

事務局より、資料7について説明。

意見・質疑応答

なし

○ その他意見など

- ・二次救急医療施設でウォークイン患者の受入、救急搬送数が増えている現状だと、当該施設の救急医療の維持が難しい。
- ・急病センターの医薬品がなくなったときに緊急に購入できるよう検討してほしい。